

このプロジェクトは、神奈川県と清川村・関係機関が協力して取り組んでいます。

清川村における鳥獣被害対策・水源林の整備 ～丹沢大山自然再生計画 統合再生プロジェクト3の取組について～

清川村の小鮎川流域とその周辺地域では、人工林の再生、シカの保護管理などを含めて、総合的な野生動物対策を進めるモデル地域として、間伐、枝打ちなどの森林整備や、広域獣害防止柵の維持管理、捕獲などによる鳥獣被害の対策を行っています。

プロジェクトの対象エリア

丹沢大山自然再生計画「統合再生プロジェクト3」の対象エリアは、丹沢大山自然再生計画の中で位置づけられた3つのエリアのうち、「東丹沢2」と呼んでいるエリアです。

自然と人の関わりを中心とした統合再生流域として、「人工林の再生」、「地域の再生」、「シカ等野生動物の保護管理」の3つの課題に対して事業を展開していきます。



地域の現状

シカやイノシシ等による農林業被害がいつも起きている。

里山の手入れ不足で森林が荒れている。

農家が高齢化・減少している。

鳥獣被害の深刻化により営農意欲が低下
森林の公益的機能の低下、農地周辺のヤブ化によりシカやイノシシ等が定着

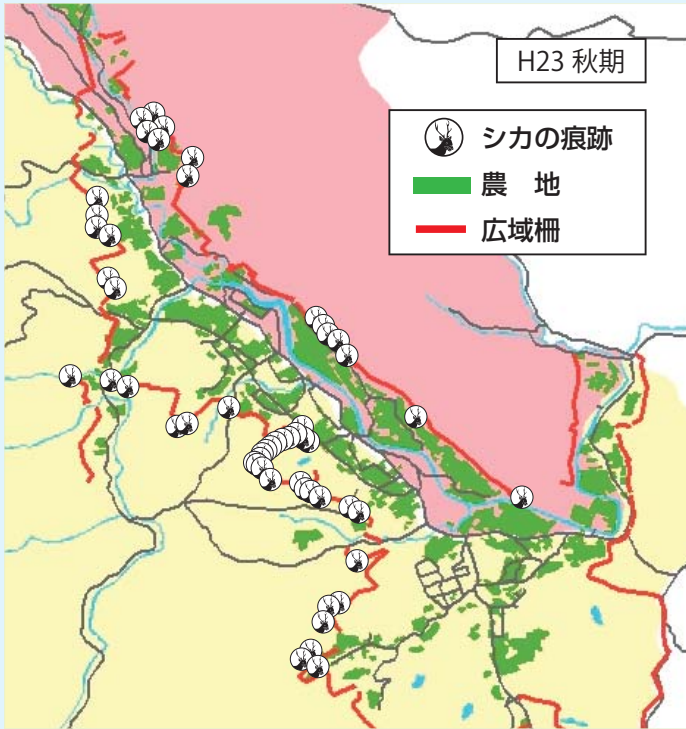
当面の目標

農地周辺のシカ・イノシシ等の定着解消、農作物被害軽減
水源かん養機能など森林の公益的機能の発揮

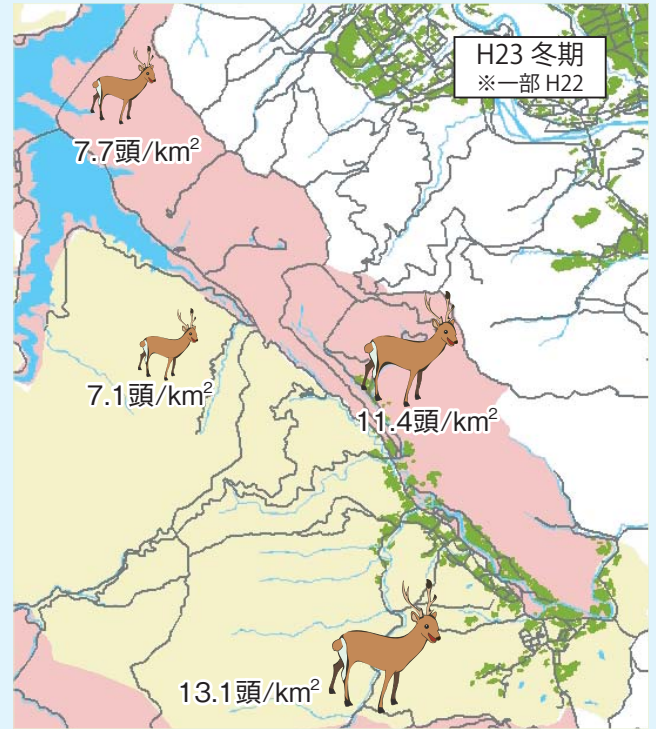
鳥獣被害の現状

- シカ・イノシシが農地の周りに居ついていて、農作物被害が発生しています。
- 広域獣害防止柵（広域柵）*1の開口部（道路や川、沢の部分）から、特にシカが農地へ侵入してきます。
- 農地周辺のヤブやヤブ化した里山などに身を隠せることが農地周辺に居つく要因の一つになっています。

*1 農地だけではなく、集落全体へのシカやイノシシ等の侵入を防止する柵



広域柵沿いにシカの痕跡がたくさん見られます



場所によってはシカが高い密度(10頭/km²以上)で生息しています



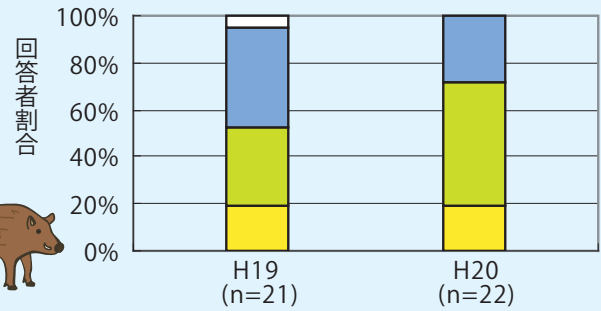
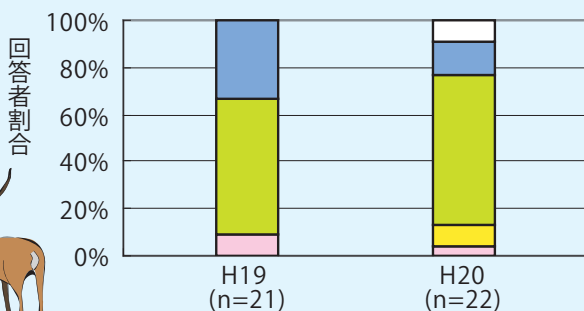
広域柵の開口部を利用して侵入するシカ（自動撮影）



広域柵



農地周辺のヤブ化した森林



□ 無回答 □ 被害はない ■ 作物収量の一部分が被害 ■ 作物収量の半分以上が被害 □ 作物収量のほぼ全てが被害

シカとイノシシによる鳥獣被害の農家へのアンケート結果
※図中の「n」はアンケートを行った農家の数

対策の検討・実施

- 全体的に捕獲の効率化を図り、捕獲圧を強化しています。
- 現在清川村が行っている広域柵の維持補修・構造強化を継続しています。
- シカがよく利用している広域柵開口部で捕獲を検討・実施しています。
- 水源かん養機能等を高め、農地周辺のヤブの解消につながる、手入れ不足人工林の整備を実施しています。
- 対策の効果検証を行います。(農家へのアンケート、広域柵沿いのシカ痕跡調査、管理捕獲時の目撃数把握)

取組 1

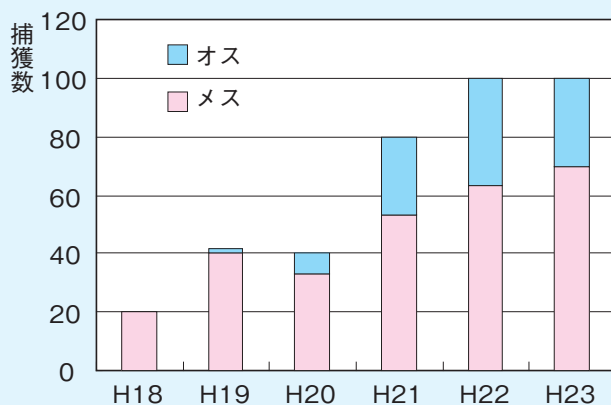
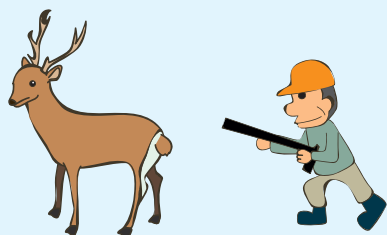
清川村によるシカ管理捕獲

- 平成 21 年度以降、シカの管理捕獲数を増やすとともに、農地周辺でのわなによる捕獲を進めています。
- 猟期になると、鳥獣保護区へ逃げ込むシカがいるため、平成 22 年度からは鳥獣保護区での管理捕獲を猟期にも実施しています。

※猟期 (11/15 ~ 2/15)

広域柵開口部でのわな捕獲試行

- 高頻度で野生動物に利用されている広域柵開口部に、くくりわなを集中的に置いて捕獲を行った結果、効率よく捕獲できることがわかりました。



清川村によるシカ管理捕獲実績

取組 2

清川村による広域柵の点検・維持補修

- 毎年、広域柵の点検と破損箇所の補修を行っています。
- シカなどが侵入してくる開口部には侵入しにくくする対策を実施しています。



沢などの開口部対策



広域柵破損箇所の維持補修の実施状況 (補修前)
※イノシシなどにより潜り込まれた状況

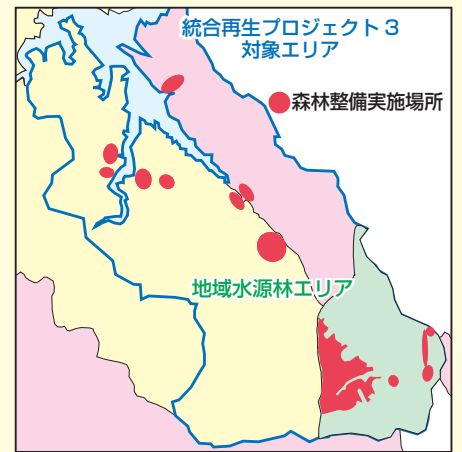


広域柵破損箇所の維持補修の実施状況 (補修後)
※潜り込まれないように丸太を設置

取組 3

手入れ不足人工林の整備

- 手入れの進んでいない人工林の整備を、県や村が主体となって、地域水源林整備事業等で実施しています。
- 農地周辺のヤブが整備されると、農地周辺にシカやイノシシが定着しにくい環境づくりにも役立ちます。
- しかしながら、整備した人工林にシカが集中して、下草を食べつくしてしまうと、水源かん養機能などを高めるという整備目標が達成できなくなってしまうので、シカ対策との連携が必要となっています。



清川村により森林整備が実施された場所
(平成 19~23 年度)

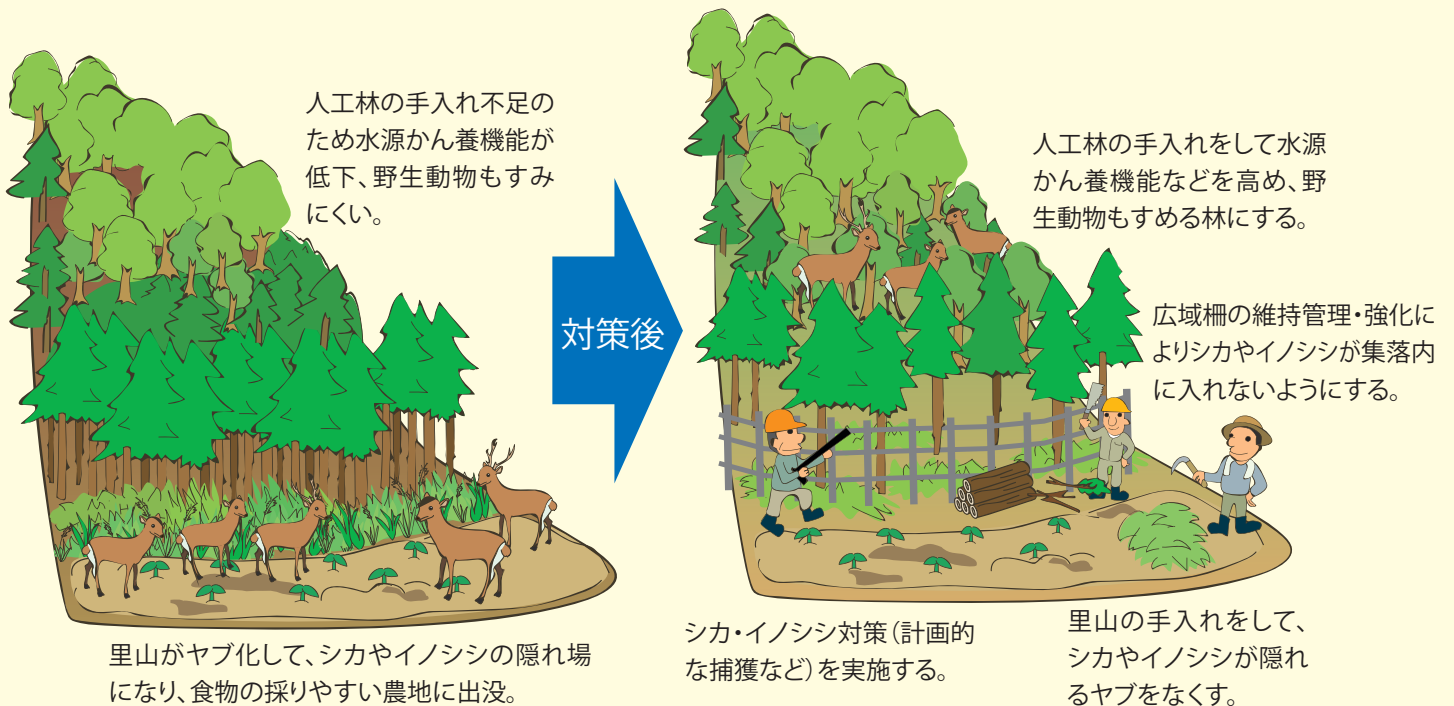


未整備のスギ・ヒノキ人工林



整備されたスギ人工林

取組の目標



お問合せは

神奈川県自然環境保全センター 研究企画部自然再生企画課

〒 243-0121 神奈川県厚木市七沢 657 電話 (046) 248-0323 (代)

作成協力：清川村

平成 24 年度作成